

事業提案計画書

事業名：京丹後こども・みらいプロジェクトⅢ～京丹後から新たなインクルーシブな一歩を～

1 事業実施者 (事業提案者)	法人名：一般社団法人 KYOTANGO THREAD CARAVAN 代表者：代表理事 小谷奈穂	
2 実施期間（予定）	令和9年4月 から 令和10年3月 まで	
3 提案事業の概算事業費	(1) 概算事業費	4,083,000 円
	(2) 概算事業費のうち補助最低額	1,000,000 円
4 事業の内容	本プロジェクトは、病気や障害などの理由により社会参加が難しい方々が、自然豊かな京丹後市での体験や交流を通じて「地域（人）とのつながり」を実感できる、地域共生型の交流事業です。 昨年度は、参加者が地域の自然や人と出会い、「旅行すること」や「地域で過ごすこと」への心理的ハードルを下げることを目的に、宿泊型・日帰り型の交流プログラムを実施しました。 参加者からは、「初めて家族で旅行ができた」「同じ悩みを持つ家族とつながれた」「丹後でつながった方と、その後も連絡を取り合っている」「酸素を届けているご家庭のお子さんが、楽しそうに参加されているのを見て大変感動した」といった声が寄せられ、地域住民や事業者にとっても、多様な人々を温かく受け入れる意識の醸成につながりました。 今年度はその成果を発展させ、単発の交流会にとどまらず、京丹後市全体を「誰もが安心して滞在・交流できるインクルーシブツーリズムのモデル地域」として育てることを目指します。社会参加が難しいとされる方々とそのご家族が、地域社会の中で安心して交流し、体験活動に参加できる環境を創出するため、以下の2つの柱で事業を展開します。 【プロジェクト詳細】 ①地域体験型交流プログラムの拡充（年間1～3回） ・京丹後の海や里山といった地域資源を活用し、季節に応じた自然体験（海遊び、雪遊び、地域文化体験交流など）を実施します。 ・医療・福祉・介護の専門職や地域ボランティアがサポートすることで、「できない」を「できた」に変える成功体験を創出します。 ②地域受入れ体制の整備と人材育成（年間1～2回） ・「インクルーシブツーリズム」への対応方法を学ぶ研修会や、実践型ワークショップなどを開催します。 ・これにより、地域や専門職の受入れ力を高め、「個人の頑張り」に頼るのではなく「地域ぐるみで支える仕組み」を構築します。 ・イベント終了後もオンラインでの交流や再訪を促すことで、京丹後の“ファン”としての関係人口を増やし、将来的な移住・二地域居住・地域経済の活性化へもつなげていきます。	

	※インクルーシブツーリズムとは 障害の有無や年齢、国籍、性的指向などにかかわらず、あらゆる人が旅行や観光を楽しめるよう、物理的・制度的・心理的なバリアを取り除き、共に楽しめる観光を実現する考え方です。ユニバーサルツーリズムやアクセシブルツーリズムの概念を含みつつ、社会の意識や仕組みそのものの変革を目指す取り組みです。
5 事業の実施による公益的な効果	・本プロジェクトは、医療・福祉・介護の枠組みにとどまらず、観光振興、地域人材の育成、関係人口の創出を同時に実現する“地域共生型・地域活性化モデル”として、京丹後市の新たな価値創出に寄与します。 ・本プロジェクトの実施により、これまで外出や旅行、地域活動への参加が難しかった医療的ケア児を含む病気や障害のある子どもたち、長期療養児、AYA 世代、認知症の方々とそのご家族に対し、安心して社会参加できる機会を提供します。これにより、当事者及びご家族の孤立感や心理的負担の軽減、さらには生活の質（QOL）の向上や心身への好影響が期待されます。 ・地域住民や医療・福祉関係者が連携して受入れ体制を整えることで、多様な人々を受け入れる地域文化が生まれ、地域全体の共生意識の向上につながります。これは単なる福祉支援にとどまらず、「地域全体で支え合う仕組み」を形成する取り組みです。 ・京丹後市の豊かな自然や文化資源を活用した本プロジェクトは、新たな観光需要を創出して経済波及効果をもたらすとともに、交流人口や関係人口の増加にも寄与します。従来の観光では十分に対応できていなかった「インクルーシブツーリズム」という新たな地域価値を創出することで、持続的な地域活性化へとつなげます。 ・本プロジェクトを通じて蓄積される受入れノウハウや実践モデルを地域全体へ普及させることで、京丹後市が全国に先駆けた「地域共生型インクルーシブツーリズム」の先進モデル地域として発信されることを目指し、持続可能な地域づくりに寄与します。
6 対象者、人数、規模等	【対象者】 本事業の主な対象者は以下のとおりとする。 ・医療的ケア児をふくむ病児とそのきょうだい児・ご家族 ・発達障害児・自閉症児及びそのご家族 ・長期療養中の子ども（小児）及び AYA 世代の患者 ・認知症の方及びそのご家族（介助者） ・地域住民、医療・介護・福祉関係者、事業者等

	【事業規模・実施体制】 宿泊型プログラムをはじめ、医療的ケアや病状等への配慮が必要な参加者が多いため、安全管理及び支援体制を万全にする観点から、1回あたりの参加規模はおおむね8家族程度（スタッフ・ボランティア等含め計35名程度）を上限として実施する。 ＜実施概要＞ ・実施回数： ①地域体験型交流プログラム：年間1～3回 ②地域受入れ体制の整備と人材育成：年間1～2回 ・開催予定場所：澄海、水屋敷、レイクサイド琴引を予定 ・参加人数（1回あたり）：6名～35名程度（最大8家族予定） ・運営・支援スタッフ数（1回あたり）：2名～20名程度（医療従事者、福祉専門職、地域ボランティア等） ＜運用・安全管理上の留意点＞ ・実施回数は、参加者の体調・病状や天候等の状況に応じて柔軟に変更・調整します。 ・終末期などの重症児が参加される場合は、感染対策やプライバシー保護を最優先とし、必要最小限の人数規模で開催します。 ・参加者の医療的ケア度や事業規模に応じて、医療従事者等の配置人数を増員します。
7 スケジュールと内容	【実施期間】 令和9年4月～令和10年3月 【事業内容】 ①地域体験型交流プログラム（全1～3回） ・夏季（2回予定） 丹後エリアの豊かな自然を活かした夏遊び、京丹後市内の散策・観光体験など ・冬季（1回予定） 地域の雪資源を活用した雪遊び、京丹後市内の散策・観光体験など ②地域受入れ体制の整備と人材育成（全1～2回） ・当事者参加型ワークショップ・交流会 当事者・家族と支援者が共に学び、意見交換を行う交流プログラムの実施 ・多職種・異業種交流会 医療・福祉関係者だけでなく、観光・飲食・交通などの地域事業者などが参加する交流・研修会の開催 【事業運用上の備考】 開催時期や内容は、天候・気象状況、並びに参加者の体調等に応じて柔軟に調整・変更します。

8 補助最低額で事業を実施する場合の概要	補助最低額の場合は、事業規模を調整し、①地域体験型交流プログラムのうち夏季を優先して開催します。 ・日程・期間：1泊2日（開催日は未定） ・目的：小天橋海水浴場等における砂遊び・水遊び等の自然体験、及び地域交流 ・対象者：病気や障害のある子どもたち（グレーゾーンの自閉症児を含む）とそのご家族（8家族前後（予定）） ※参加応募者の医療的ケア度や重症度、安全確保に必要なサポート体制に応じて、参加家族数及び受入れ人数を柔軟に調整します。
9 備考	・令和8年度「京丹後こども・みらいプロジェクト」 令和8年6月13日～14日開催 令和8年7月25日～26日開催 令和8年8月29日～30日開催 ・京都府立医科大学附属病院小児科外来待ち受け、循環器相談室、舞鶴療育センター待合、阪大小児科、母子医療センター、支援学校などで広報・告知。 ・また、講演、分科会、研修受入れ、論文発表、学会誌、専門誌掲載などで広報・告知。

『京丹後こども・みらいプロジェクトIII』

～京丹後から新たなインクルーシブな一歩を～



一般社団法人 KYOTANGO THREAD CARAVAN

雪を見たことがない
あの子にも、この景色を。

-For children who have never seen snow-



プロジェクトの始まりは
私の一言からはじまりました。

『雪を見たことがない
あの子にも、この景色を
見せてあげたかった...』

by.naho

孤独感は医療のみでは解決しない現実

『病気や障がいなど』が理由で
家族だけでは
安心して旅行や宿泊に行くことが
難しいご家族が参加出来る
プロジェクトです。
小児科医と元医ケア児の
女将がタックを組んで
現状を変えようと奮闘中。





インクルーシブとは

「多様な人々が実際に参加し、
意思決定や創造に関われる状態」を重視します。

単に受け入れるだけでなく、
参加できる仕組みや環境を整えることが本質です。



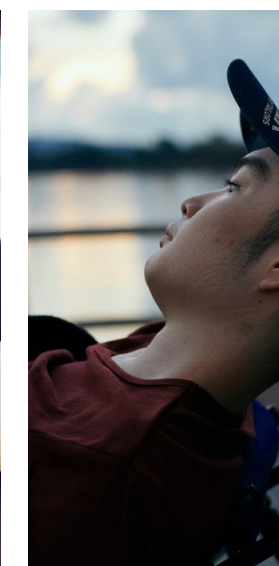
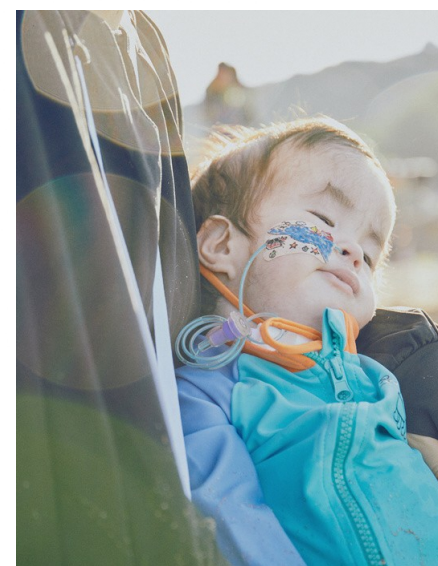
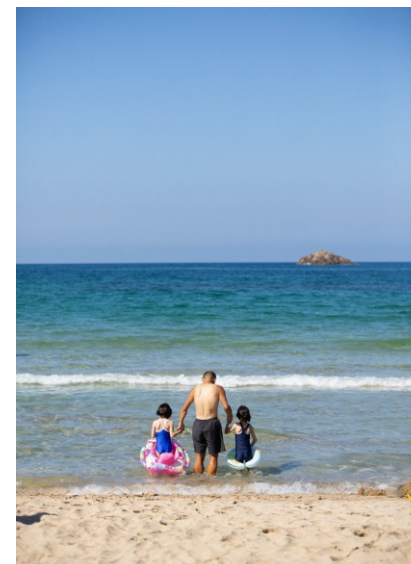
『インクルーシブツーリズム』は、
この理念を観光に適用したもので、
病気や障がいを持つ人のご家族など
従来排除されがちだった
旅行者の不安や制約を減らし、
観光体験を向上させることを目的としています。

今あるインフラを紡ぐ



国や行政が動くのを待つ時間は
子ども達にはありません。

今ある「医療の知識」と「旅館のおもてなし」
「京丹後の自然」を掛け合わせることで
生まれた新しい形が私たちのプロジェクト



新しい「インクルーシブソールズム」へ
遊んで、笑って、ついでに元気になっちゃう場所。
そして、次世代の医師や医療従事者、学生などが
「生きる力を支える医療」を学ぶフィールドとしての場所





内容

『2025年』

- 京丹後こども・みらいプロジェクト 2開催
- 京丹後市久美浜病院 地域滞在実習プログラム
- 京丹後こどもみらいプロジェクトin大阪関西万博
- 学会発表・講演・講義等

『2026年』

- LMC地域交流会in京丹後
- 京丹後みらいプロジェクト
- 京丹後こども・みらいプロジェクト 2開催
- 京丹後市久美浜病院 地域滞在実習プログラム
- 学会発表・講演・講義等





誰ひとり置き去りにしない「支え合い・助け合い」のまちづくり
皆様に笑顔をお届けするために、
私たちはこれからも“ コツコツ ” と歩んで参ります

あ、
そういえば、
まだ、雪、見てないよねえ

みてない
みてない



